

違法な労務管理の被害労働者が多発

2010年12月度の相談状況

1. 労働相談の概況

1) 相談者数・件数について

「資料1. 2010年12月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

「資料3. 2010年12月、相談件数（業種別・相談項目別）より」

今年12月の相談者数は74人で11月（45人）より増加し、前年同月（63人）と比べても、増加しています。

相談項目数については、120件、一人あたり1.60件となっており、前年同月（113件）より、増加しています。

2) 男女別、雇用形態別相談者数について

「資料1. 2010年12月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

男性38人（51.4%）、女性36人（48.6%）と男性が若干上回っており、雇用形態別では、社員31人（41.9%）、社員以外40人（54.0%）、不明3人となっています。

社員以外では、パートが18人（24.3%）、臨時10人（13.6%）、契約社員8人（10.9%）となっております。

今回は、非正規が正規労働者の相談数を上回っています。

厳しい経済状況を反映して、ノルマの押し付け、人件費の削減でサービス残業を強いられて、せっかくの権利である年休が取得できないなど、ズサンで違法な労務管理がまかりとっています。

3) 業種別相談者数、相談件数について

「資料2. 2010年12月、相談者数（業種別・相談項目別）より」

「資料3. 2010年12月、相談件数（業種別・相談項目別）より」

業種別相談者は、多業種に分散し、内訳は「卸・小売業・飲食店」19人（25.7%）、「医療・福祉・医薬品」8人（10.8%）、「製造業」6人（8.1%）、「ビル管理・警備業」6人（8.1%）と続いています。

前月から引き続いて卸・小売業・飲食店がトップです。

4) 相談項目（内容）について

「資料 3 . 2010 年 12 月、相談件数（業種別、相談項目別）より」

主相談項目別相談件数では、「賃金関係」24 件、「労働時間関係」13 件、解雇、雇止めなどの「雇用関係」12 件、「労働契約関係」8 件となっています。

5) 違法率

「資料 4 . 2010 年 12 月、違法件数（雇用形態別・相談項目別）より」

相談項目数 120 件中、違法件数 66 件、違反率は 55.0%で、前月よりは 15.2%の増加、違法件数の多い状況は変わっておりません。

上位項目は「賃金関係」26 件、「労働時間関係」12 件、「雇用関係」6 件となっています。

2 . 12 月の雇用情勢

12 月は例年、労働相談の件数が減少しますが、今年は、相談件数が増加しています。

今回は、不払い残業、労働時間、年休関係の相談が多いのが特徴です。

特にパート労働者に年休を与えないケースが多く、労働者自身も年休に対する知識が薄く、せつかくの権利を放棄している状態です。

いまの厳しい経済状況を反映して、ノルマの強要、サービス残業を強いられるなど、相談内容も深刻です。

タイムカードの退勤時間の改ざんをさせたり、タイムカードを設置しているのに活用しないなどの問題も増えている。

賃金面での違法行為もトップにあり、残業しても手当を支払わない、サービス残業が野放し状態となっています。

不況を反映して事業所閉鎖での解雇が発生してはいますが、解雇の件数は、例年より減少しています。

ただし、露骨に解雇するのではなく、イジメ、嫌がらせなどを行い、退職に追い込むという陰湿な行為が増えていることが問題です。

このため、雇用保険で自己都合退職となり、不利益な失業給付を強いられています。

イジメ、嫌がらせなどのパワーハラスメントにより、精神疾患、うつ病など重病にかかるケースも増加傾向です。

以上

【項目別参考資料】

- 資料 1 2010 年 12 月 相談者数（雇用形態・男女別・業種別）
- 資料 2 2010 年 12 月、相談者数（業種別、相談項目別）
- 資料 3 2010 年 12 月、相談件数（業種別、相談項目別）
- 資料 4 2010 年 12 月、違法件数（雇用形態別・相談項目別）